

論文・面接試験委員の本音  
～面接対策（既卒者、教職経験者、転職者向け）～

## 1 自己の課題を分析する

### (1) 自己を分析する

◎教員としての資質がありますか。教員に向いていると思いますか。

[illegible]

教員としての資質があるか、自分を分析する。

## (2) 試験結果の分析をする

◎どこに課題があったと考えていますか。

[illegible]

次への対策のために自己の課題を明確にする。

## 2 自分の強みを考える

[illegible]

他の受験者よりアピールできるところを見つけましょう。

- ・ 熱意や使命感
- ・ 他教員より優れていること、子供への指導や学校への貢献
- ・ 常識と社会性

◎面接官は、既卒者の何に興味をもち、何を知りたいのか。

- ・なぜ教員をやろうと思ったか。
- ・どのような経験をしてきたか。
- ・子供に好かれるか。
- ・保護者や同僚と上手くやれるか。

### 3 志望動機や志望理由で熱意や使命感を示す

【質問 1】 教員を目指す理由を述べてください。

This image shows a full page of a worksheet designed for handwriting practice. It features 15 evenly spaced, horizontal dashed lines across the entire width of the page. The background is plain white, and there are no margins, text, or other markings present.

志望理由は、面接官に興味をもたせる第一歩になる。

- ・臨任や非常勤講師をしていることは、熱意や使命感がある証明にはならない。
- ・今教員をすることが可能だがやっていない人は、教員への熱意をどう証明するか。

(例) 教育関係の職にある人は、子供の姿を含めたエピソードを語る。

(例) 他業種の方は、面接官が納得できる転職するキッカケを語る。



【質問 3】 その経験を教員としてどのように生かしますか。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal dashed lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a guide for handwriting practice. There are no other markings, text, or illustrations on the page.

- ・子供への指導、保護者等への対応、教職員対応、組織対応の視点から経験を吟味する。

◎子供と関わった経験を示す。

- ・学校との関わり
- ・子供との関り
- ・学校教育への理解
- ・子供理解

教職に役立つ経験が、面接委員を期待させる。

## 5 よりよき社会人であることを示す

○ 社会人としての常識等はどこで見るか。

- ・ 親和的態度
- ・ 清潔な服装
- ・ 相手が安心できる話し方
- ・ 明るく話しやすい表情

○ 同僚や保護者と適切なコミュニケーションがとれることをどこで見るか。

- ・ 言葉遣い
- ・ 表情
- ・ 素直さ
- ・ 誠実さ
- ・ 清潔感
- ・ 落ち着き
- ・ 温かさ
- ・ 協調性

社会人としての常識が備わっていることが、面接委員を安心させる。

## 6 面接委員のジレンマを軽減する

○ 複数回受験している人は、面接委員に今年は変わったことを示すことができるか。

- ・ 教員を目指す理由で示す。
- ・ 昨年度以降の経験から示す。
- ・ 身の回りの変化を示す。
- ・ 考え方の変化を示す。
- ・ その他

今年は変わったと面接委員に思わせることで説得する。

○ 転職者は面接委員が納得する志望動機を構成できるか。

- ・ 就職してからの経験等による考え方や意識の変化
- ・ 人生設計上での予定の行動
- ・ 家族や仕事など身の回りの状況の変化

※なぜ今転職するのもかも明確にする。

誰もが理解できる説明に心がける。